

授業科目 解剖学 I

【担当教員名】			対象学年	1	対象学科	言語
鈴木 了			開講時期	前期	必修・選択	必修
			単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】						
解剖学STでは、人体の基本的構造を全体的に理解し、特に発声発語器官である口腔・鼻腔・咽頭・喉頭について、及び聴覚器官である外耳・中耳・内耳についてそれぞれの構造と機能を理解する。さらに言語と聴覚に関する中枢神経系と末梢神経系を理解する。また頭蓋・顔面部の発生の概略を理解し、口腔・顎顔面部の先天異常の発生を考察する。						
【学習目標・行動目標：SB0】						
1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。						
2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を概説できる。						
3. 主な骨、骨格筋の名称、位置を説明できる。						
4. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を説明できる。						
5. 消化器系の諸器官、その付属器の名称、位置を説明し、その働きを概説できる。						
6. 呼吸器系、泌尿生殖器系を後制する器官の名称、位置を説明出来る。						
7. 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。						
8. 聴覚伝導路をコルチ器から大脳皮質まで順にたどることができる。						
9. 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭を構成する各部位の名称と機能を説明できる。						
10. 外耳・中耳・内耳の構造と機能を説明できる。						
11. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。						
12. 摂食・嚥下について解剖学的に説明できる。						
回数	授業計画・学習の主題				SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学序論	解剖学とは	組織学総論	細胞と四大組織	1, 2	講義
2	骨格系	骨の構造と種類	骨の連結		3	講義
3	筋系	筋の構造と種類	主な骨格筋		3	講義
4	循環器系	血管とは	心臓	大循環と小循環	4	講義
5	内臓系- 1	消化器系	呼吸器系		5	講義
6	内臓系- 2	泌尿生殖器系	内分泌系		6	講義
7	感覚器と神経系	感覚器と神経系のあらまし			7	講義
8	神経系- 1	中枢神経系	伝導路		7, 8	講義
9	神経系- 2	末梢神経系			7	講義
10	発声発語器官- 1	口腔、鼻腔、咽頭			9, 12	講義
11	発声発語器官- 2	喉頭			9, 12	講義
12	平衡聴覚器- 1	外耳と中耳			10	講義
13	平衡聴覚器- 2	内耳			10	講義
14	人の発生- 1	頭頸部、鰓弓の発生			11	講義
15	人の発生- 2	顎顔面部、平衡聴覚器の発生			11	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		入門人体解剖学	藤田恒夫	南江堂	2000年 5000円	
参考書		理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2009・6,090円	
		ラングマン人体発生学	Thomas W. Sadler、安田 峯生 記	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2006・8,820円	
		解剖学アトラス	V. W. Kahle、H. Leonhardt、越智淳三 記 他	文光堂	1990・10,500円	
その他の資料		プリントの配布				
【評価方法】			【履修上の留意点】			
出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、小テスト、期末試験の総合評価			短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、予習、復習することが重要です。また参考書は非常に高価です。無理に購入せず、図書館等を有効に活用してください。			